

富士通テングループ地球環境憲章

【基本理念】

富士通テングループは、環境と経済の両立が経営の重要課題と認識し、Automotive Electronics, Entertainment, Information and Communication Technology 分野で培ったテクノロジーと創造力を活かし、人と車と環境のよりよい関係づくりを推進します。さらに、低炭素社会の実現と社会の持続可能な発展に寄与し、緑豊かな21世紀社会へ貢献します。

【基本方針】

1. グローバル企業としての責任遂行

グローバルに構築した環境マネジメントシステムの枠組みを通じて、事業活動のすべての領域で環境リスクの低減ならびに環境パフォーマンスの継続的向上を図るため、最新の環境技術を追求し、環境と経済の両立に向けた製品開発や事業取組みを行います。

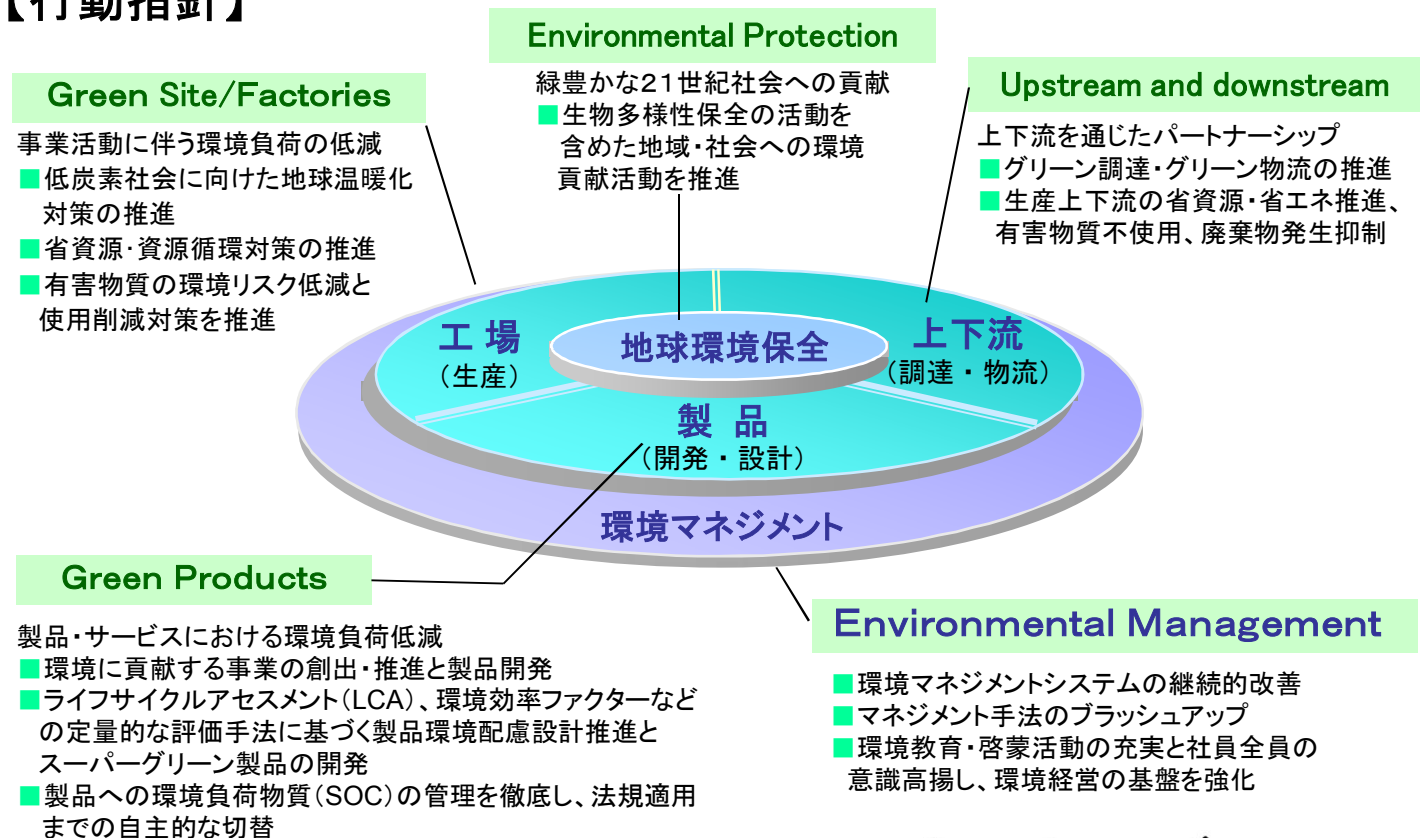
2. 基本の徹底と自主的な取組み

汚染予防のコミットと環境法規制の順守はもとより、お客様の要望や社会動向に素早く対応し、中期VISION、取り組みプランを設定して本来業務に根ざした効率の良い環境保全活動を推進します。

3. 社会との連携・協力

企業市民として国・自治体などの環境施策や社会貢献への取り組みに積極的に参画、支援を行うとともに、お客様とのコミュニケーションを大切にし、事業活動における環境保全の実績、製品・サービスの環境性能について、積極的に情報開示します。

【行動指針】



代表取締役社長:

山中 明

2016年5月27日

富士通テン株式会社

地球環境委員長:

小川 尚